

プロポーザル評価基準

審査項目	大分類	中分類	評価基準	配点
審査項目全体	事業コンセプト	全体の評価	仕様書の事業目的が達成可能な提案となっているか。	25
		独自性	仕様書の事業目的を理解し、独自の提案がされているか。	25
	総合審査点合計			50
価格審査	事業経費	コストの妥当性	予算内の提案となっており、費用対効果が得られるか。	25
			経費の内訳が明確か。	10
	価格審査点合計			35
各項目審査	企画提案の内容	セミナーの開催について	セミナーの内容は適切で、市内の中小企業に伝わる内容になっているか。	15
		伴走支援について	これまで中小企業のデジタル活用による経営課題解決支援を実施した経験が十分にあるか。	15
			企業の課題を把握できるような現場の視察、聞き取り等が計画されているか。	15
		成果発表会について	経営者のみならず、現場担当者等が十分理解を得られるデジタル導入支援が行えるか。	15
			市内に当事業の成果を共有できるような成果発表会が計画されているか(想定参加者、会場等)。	15
		募集について	セミナー、伴走支援などで参加者を集められるノウハウや提案があるか。	10
運営体制	事業の運営体制	事業を遂行するだけの体制ができているか。	事業の履行に十分な人員体制が取られているか。迅速な対応が可能で、責任者が明確であるか。	15
		継続性	委託期間が終了した後も、参加企業が求めた場合(有償、無償問わず)、相談、サービスの提供を提案できるか。サービスが充実しているか。	15
個別項目審査及び運営体制合計			115	
合計(総合審査+価格審査+個別項目審査)			200	